

石見神楽の保存・伝承に向けた検討について

1 現状

石見神楽は、日本遺産にも認定されている本市が誇る伝統芸能であり、市内には 50 以上の神楽団体があります。また、本市は石見神楽面、石見神楽衣裳、石見神楽蛇胴などの神楽産業を生み出した「石見神楽の本場」でもあり、市長も令和 5 年度施政方針において、国内外への情報発信拠点として、「(仮称) 石見神楽伝承館」の設置検討を表明しています。

2 課題

石見神楽の保存・伝承に向けた主な課題として、

- 少子高齢化等に伴う、神楽の担い手や神楽関連産業従事者の後継者育成
- 石見神楽の保存・伝承に向けた情報発信の在り方 など

が挙げられます。

3 石見神楽伝承内容検討専門委員会での検討内容等

上記の課題に対応するため、石見神楽伝承内容検討専門委員会（以下「専門委員会」という。）を立ち上げ、石見神楽や神楽関連産業の保存・伝承に向けて、行政と民間がそれぞれどのような取組を進めるべきかや、行政が行うべき情報発信の内容や方法等について検討し、これらを取りまとめ、市に対して提言書として提出していただく予定です。

市は、専門委員会からの提言内容を具現化するための仕組みや方法等を検討し、公表することとしています。

4 今後の専門委員会のスケジュール及び検討内容（案）

回	開催日時・場所	内容（案）
第 1 回	5 月 24 日(金) 18：30～20：30(予定) 中央図書館	・ 会長・副会長の選任 ・ 石見神楽の保存・伝承に向けた検討について ・ 意見交換 他
第 2 回	6 月 27 日(木) 18：30～20：30(予定) 中央図書館	・ 第 1 回の意見交換の内容を踏まえ、石見神楽の保存・伝承に向けて、行政と民間がそれぞれ行うべき取組や行政が行うべき情報発信の内容や方法等について検討を行い、取りまとめる。
第 3 回	7 月 30 日(火) 18：30～20：30(予定) 中央図書館	
第 4 回	8 月 27 日(火) 18：30～20：30(予定) 中央図書館	
第 5 回	9 月 26 日(木) 18：30～20：30(予定) 中央図書館	・ 第 1 回～第 4 回で取りまとめた内容について提言書に盛り込む内容の検討を行う。
第 6 回	10 月 30 日(水) 18：30～20：30(予定) 中央図書館	・ 提言書の最終調整 ・ 市長・教育長に対して提言書提出

石見神楽の保存・伝承等に係る意見について

令和 5 年度に浜田市議会石見神楽振興議員連盟が行った、各地域（浜田・金城・旭・弥栄・三隅）の石見神楽社中連絡協議会との意見交換会での各協議会からの主な意見について、ご参考までにお知らせします。

(1) 後継者育成について

- ・石見神楽を文化として大切にすることで、作り手の評価向上や、若者の定住促進につながる。行政が文化面での取組を強化する必要がある。
- ・神楽産業の文化財指定などにより作り手の評価を高め、後継者育成につなげる必要がある。さらに、若者定住を結び付ける方策があれば良いのではないか。
- ・若者や子どもに神楽の魅力を伝える活動が重要。神楽を体験する機会を提供し、関心を高めてもらう必要がある。
- ・学校教育を通じた神楽の魅力発信が重要である。
- ・石見神楽により若者の県外流出を防ぐ部分があるのは事実。
- ・社中にある使わない衣裳や神楽面などを展示し、若者や子どもに興味をもってもらうことも必要。

(2) 財政支援について

- ・神楽団体は、メンバーが高齢化しており、後継者が少ない。経済的に厳しい状況にあるため、行政の支援が必要不可欠。
- ・衣裳製作費など経費が高騰しているが、公演料など収入は増えていないため、団体運営が厳しい状況。
- ・衣裳製作費の補助金を拡充することで、後継者の経済的負担を軽減できる。
- ・行政からの支援により、神楽団体や神楽産業従事者の経済的負担を軽減できる。
- ・神楽団体でのグッズ販売など自主財源確保のための取組も重要。
- ・御花(寄付)が年々減少している。御花を打つ習慣が若い方にならない。受け継がれていない。持続可能な神楽社中であるために、御花の文化を伝えていく必要がある。
- ・神楽出演料が安い。市や観光協会がプライスリーダーとなり金額を決めて欲しい。移動の車の維持管理費が年々上昇し持続する事が厳しい。衣裳の借金返済が苦しく、衣裳の新調は補助金があるにしても苦しいのが現状。(手出しが必要なため)

(3) 情報発信について

- ・神楽などの伝統芸能は浜田の文化として大切にしていける必要があり、作り方や技術等を記録し、正當に評価して後世に伝えていかなければならない。
- ・石見神楽という文化を市民の多くに理解してもらう必要がある。
- ・浜田駅前に神楽時計や大蛇の看板があるが、観光客はどこに行けば神楽が見れるのかが問題になっている。
- ・人を呼ぶだけなら、アクアスやイベント場でよい。

- ・アクセスの良い場所に文化発信の拠点設けることで、観光客誘致につなげられる。箱物偏重にならないよう、適切な中身が必要。
- ・石見神楽を常設展示できる拠点施設が必要。観光目的よりも文化として後世に伝えるための施設が重要である。また、衣裳や面を保存展示できる収納庫も備えてほしい。
- ・浜田の神楽は唯一無二の文化であり、その継承と PR は重要。浜田の文化を次世代に引き継ぎ、内外に発信していくことが必要。
- ・神楽の舞台公演だけでなく、その歴史や伝統工芸など文化を体感できる施設が必要。
- ・神楽公演スケジュールを SNS 等で既に発信されているものもあるが、全てではない。
- ・神楽に関する WEB サイトの多言語化を進める。インバウンド対応が必要。

(4) その他

- ・イベント出演の際に、初めて他の社中と出演する機会に恵まれた。その際に、単独社中として存続していくだけでなく、合同で続けていく考えが芽生えた。